

がん情報サロンボード

2018/04/15

がん情報サロン 富田 明人

後期高齢者医療制度と介護保険

今年は天候不順で満開の桜もこの数日の嵐で散り果ててしまいました。4月は値上げの季節 後期高齢者医療制度の保険料は都道府県単位の広域連合が2年ごとに見直しており4月から2年間の保険料の見込みを一人あたり全国平均は月額5,857円、2016~17年度から72円増える見通しです。

後期高齢者医療の都道府県別平均の月額保険料は東京8,094円、神奈川県7,416円、愛知県6,905円 低いのは秋田県3,271円、青森県3,475円で格差の広がりが見られます。全国47都道府県の中で島根県4,229円(42位)、鳥取県4,282円(40位)増減幅は島根県▲75円、鳥取県は192円の増額となっています。

65歳以上の高齢者が負担する介護保険料も値上がりしました。高齢化による保険給付費の増加が主なる要因のようではあるが、介護報酬の改定も大きい。

65歳以上の介護保険料			
地域	4月から	3月まで	増減
安来市	6000	5600	400
松江市	6343	5848	495
出雲市	6260	5820	440
大田市	6500	5800	700
益田市	5950	5750	200
津和野町	5396	5680	-284
吉賀町	6100	5300	800
浜田地域行政組合 (浜田市、江津市)	6980	6560	420
雲南広域連合(雲南市、飯南町、奥出雲町)	5900	5400	500
邑智郡総合事務組合(美郷町、川本町、邑南町)	6760	6760	0
隠岐広域連合(隠岐の島町、西ノ島町、海士町、知夫村)	6550	6550	0

本県の介護保険は7市町村と4つの広域連合ブロックで運営されている。4月から6,000円を超える値上げは8ブロック、最も値上げ額が大きいのは800円増の吉賀町で月額6100円の負担となる。津和野町は▲284円の減額で月額5,396円と保険料は最も安い。

少子高齢化に向かい介護は最も重要な課題である。介護保険財政は厳しさを増しサービスの縮小が進むなどは保険本来の目的ではない。長期のビジョンをもって施策を立てる保健活動の強化が求められる。

(富田)